

TO
R

	△の数	訂正記事	設計	検図	年月日		△の数	訂正記事	設計	検図	年月日
△						△					
△						△					
適用規格											
定格	使用温度範囲		-25℃ ~ +85℃			保存温度範囲		-25℃ ~ +85℃			
	電圧		AC 30 V , DC 42 V			電線サイズ		MAX AWG#26			
	電流		2 A			適合ケーブル		—			
性能											
	項目		試験方法			規格			QT	AT	
構造	外観、構造及び仕上げ		目視、寸法測定器にて測定する。			図面と合致していること。			○	○	
	表示		目視にて確認する。						○	○	
電気的性能	接触抵抗		単位コネクタをDC 1 A で測定する。			15 mΩ以下			○	○	
			— をDC — A で測定する。			— mΩ以下			—	—	
	絶縁抵抗		DC 100 V で測定する。			1000MΩ以上			○	○	
機械的性能	耐電圧		端子間、端子-シェル間にAC 300 Vの電圧を1分間印加する。			せん絡・絶縁破壊がないこと。			○	○	
	コネクタの挿抜力		—の鋼製ピンで測定する。			挿抜力 — N 以上			—	—	
	コネクタの挿抜力		適合コネクタで測定する。			挿抜力 50 N以下(ロック機構を除く)			○	—	
	繰り返し動作		1000 回の抜き差しを行う。			単位コネクタの接触抵抗: 30 mΩ以下			○	—	
						— の接触抵抗: — mΩ以下			—	—	
	耐振性		周波数 10~55~10Hz/サイクル, 振幅0.75mm, 5分/サイクルで3軸方向各10サイクル試験する。			①10 μs以上の電氣的瞬断がないこと。 ②破損、ひび、部品のゆるみがないこと			○	—	
	衝撃		加速度 490 m/s ² , 持続時間 11 ms, 正弦半波 3軸両方向各3 回試験する。			①10 μs以上の電氣的瞬断がないこと。 ②破損、ひび、部品のゆるみがないこと			○	—	
環境性能	コネクタ破壊強度		適合コネクタをカン合した状態で、ケーブルを上下左右方向に力を加える。			100N以下でコネクタの破損が無いこと。			○	—	
	定常状態の耐湿性		温度 40 °C, 湿度90~95 %中に96時間放置する。			①絶縁抵抗: 10 MΩ以上(高温時) ②絶縁抵抗: 100 MΩ以上(乾燥時) ③破損、ひび、部品のゆるみがないこと			○	—	
	温度サイクル		温度 -55℃ → 常温 → +85℃ → 常温 時間 30 → 2~3 → 30 → 2~3 分 を5 サイクル試験する。			①絶縁抵抗: 100MΩ以上 ②破損、ひび、部品のゆるみがないこと			○	—	
	塩水噴霧		濃度5%の塩水、48時間放置する。			はなはだしい腐食がないこと。			○	—	
	耐熱性		温度 +85 °C中に96時間放置する。			破損、ひび、部品のゆるみがないこと。			○	—	
	耐寒性		温度 -55 °C中に96時間放置する。			破損、ひび、部品のゆるみがないこと。			○	—	
	はんだ耐熱性		はんだこてをこて先温度+350±10℃で5±1秒間ワット部へ当てて。			外観の変形及びコネクタなどに著しいガタがないこと。			○	—	
	はんだ付け性		はんだこてをこて先温度+350±10℃で2~3秒間のはんだ付けを行う。			はんだ付け表面は、ピンホール、ぬれなし はんだはじき部分などの欠点のないこと。			○	—	
	耐水圧性		適合コネクタをかん合した状態で水深 1.8mに 48時間放置する。			コネクタ内部への浸水がないこと。			○	—	
	耐気圧性		適合コネクタをかん合した状態で、コネクタ内部に17-圧17.6kPaを30秒間加える。			コネクタ内部より気泡の発生がないこと。			○	○	
	備考						製図	設計	検図	承認	出図
試験規格の記載のない試験方法はJIS C 5402を適用している。											
注 QT: 確認試験 AT: 製品検査 ○: 適用項目											
HRS ヒロセ電機株式会社 HIROSE ELECTRIC CO., LTD.			製品規格表			製品名 LF10WBR-12P					
旧CL CL		図番 SLC4-114246		製品コード CL136-1007-3		1/1					